

2019年11月19日

先週の回顧

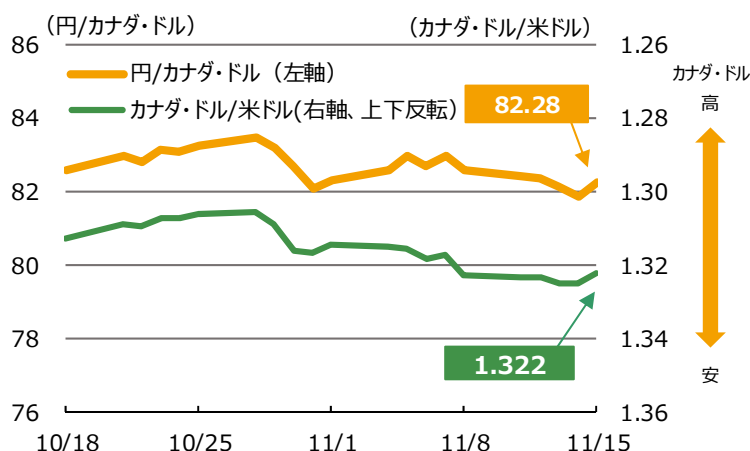
カナダ・ドルは、対円で下落しました。また、カナダ5年国債利回りは低下しました。

米中通商協議の進展期待が後退したことを背景に、投資家のリスクセンチメントが悪化し、カナダの金利は低下しました。また、円高圧力が強まったため、カナダ・ドル円は下落しました。

経済指標では新築住宅価格指数が発表になっており、市場予想を上回る結果になったものの、市場に与えた影響は限定的でした。

カナダ・ドル 為替推移

(2019年10月18日～2019年11月15日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

今週の見通し

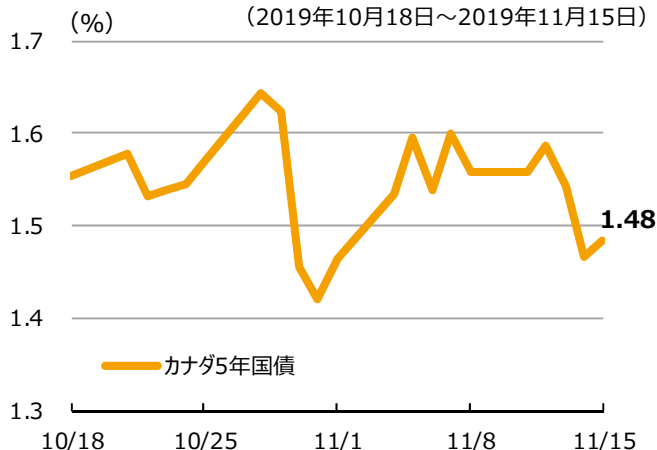
今週、カナダではCPI（消費者物価指数）、小売売上高の発表が予定されています。また、米国では10月分のFOMC（米国連邦公開市場委員会）議事録の発表が予定されています。

引き続き、米中通商協議の進展などの外部要因にカナダの通貨、金利が振らされる展開が予想されます。

加えて、足元では、USMCA（米国・メキシコ・カナダ協定）に関してペロシ米下院議長が年内の下院通過を目指すとして、米議会での協定の批准に向けて前向きなコメントをしています。そのため、今後の米議会の動向が注目されます。

カナダ 金利推移

(2019年10月18日～2019年11月15日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。